

保健医療と福祉

問題 103 悪性新生物の2000年以降の経年的な動向に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 年齢調整死亡率は減少傾向にある。
- 2 粗死亡率は減少傾向にある。
- 3 年齢調整罹患率ねんれいちょうせいり かんりつは減少傾向にある。
- 4 粗罹患率は減少傾向にある。
- 5 主な死因別にみた死亡率では第2位である。

問題 104 保健所及び市町村保健センターに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 保健所は三次医療圏，市町村保健センターは二次医療圏を勘案して設置しなければならない。
- 2 保健所は二次予防，市町村保健センターは一次予防と役割分担がなされている。
- 3 保健所は対人保健，市町村保健センターは対物保健と役割分担がなされている。
- 4 都道府県の設置する保健所は，市町村の求めに応じて技術的助言を行うことができる。
- 5 保健所及び市町村保健センターの所長は，医師でなければならない。

問題 105 事例を読んで、救急病院のAソーシャルワーカー(社会福祉士)のBさんへの対応に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

住民票を移さないまま都市部に移り住んだBさん(55歳)は、ここ10年ほど簡易宿泊所で寝起きし、週4日程度の日雇労働に従事し、その日暮らしである。ある日、息切れと胸痛のため路上でうずくまっていたBさんは救急病院で結核と診断され、さらに排菌しているため、入院を勧告された。簡易宿泊所で感染したものと考えられた。Bさんは健康保険の被保険者であるものの医療費の一部負担金が払えない、働かないと生活ができないと訴えて、入院を拒否している。

- 1 入院した場合、公費負担により一部負担金が発生しないことを説明する。
- 2 傷病手当金について説明する。
- 3 療養補償給付について説明する。
- 4 住民票の住所地であれば医療扶助を申請できることを説明する。
- 5 選定療養費の対象になることを説明する。

問題 106 我が国の「臓器の移植に関する法律」に基づいた臓器提供に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 臓器提供者の書面による意思表示及び家族の承諾が必要である。
- 2 脳死状態での臓器提供は認められていない。
- 3 死体移植件数より生体移植件数の方が多い。
- 4 臓器売買は、日本人が海外で行った場合は処罰対象とならない。
- 5 臓器提供者と移植患者に関する情報は相互に共有される。

問題 107 事例を読んで、病院のAソーシャルワーカー(社会福祉士)の対応として、次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Bさん(18歳、未婚、就業経験なし)は、腹痛を訴えて救急車で緊急入院となった。検査の結果、妊娠8か月であり、切迫早産の危険性がある状態であった。さらに母子健康手帳の未交付、妊婦検診も未受診であった。救急担当医師からの依頼で、AがBさんと面談を行った。その結果、友達の家を転々とし、経済的に困窮していること、お腹の子どもの父親は分からないとのことであった。

- 1 特定妊婦と判断し、支援の必要性を説明する。
- 2 医療機関から他機関への情報提供を行わない旨を説明する。
- 3 出産手当金の申請が可能であることを説明する。
- 4 母子生活支援施設の入所が可能であることを説明する。
- 5 出産後、子どもを専門里親に託すことが可能であることを説明する。

問題 108 診療報酬の支払い方式などに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 出来高払い方式は、必要な診療の手控えを誘発させる可能性がある。
- 2 出来高払い方式の弊害として、医師の裁量が制約されやすい点がある。
- 3 包括払い方式では、過剰な診療を誘発させる可能性がある。
- 4 包括払い方式の弊害として、診療内容の透明性が失われやすい点がある。
- 5 医療費適正化対策に伴い、DPC対象病院数は減少傾向にある。